

宇都宮二郎 うつみや じろう 洋學・化學者。天保五年十月十五尾張國名古屋
流川生れ、明治二十五年七月二十三日歿（二二四—一九〇二）。舊姓神谷、
諱義綱、字重行、通稱銀次郎、小金次、鑛之進、三郎。藩費の學ぶ。
兵學、素術に達し、洋書に造じ、特に化學に長ず。勝海舟等に知られ
蕃書舘所出役となり、文久二年洋書舘所教授手傳出役、のち陸軍所に
勤の軍制改革の議に與る。明治二年開成所出仕、大學中助教、翌年大
助教、尋いで文部少教授。五年工部省出仕、岩倉使節團の一員として歐
米巡察。翌年製作寮出仕、八年英米一國へ派遣せられ、十五年工部大
技長となる。『鑛産新法』、『築鑛論』等の著ありし。

